

万代の風

万代コミ協だより29号

2018年(平成30年)3月31日

万代地域コミュニティ協議会

発行者:丸田 喜也

新潟市中央区天明町19-16

川の風 海の風 まちの風 にいかたのかぜ!!

(仮称)万代・宮浦乳児保育園及び東地域保健センター建設事業

平成32年4月からの供用開始を目指しています。
事業の概要

- 標記の施設を旧万代小学校跡地に移転・合築し、平成32年度に開設します。
 - 万代保育園と宮浦乳児保育園の移転・統合により、定員を50人増やします。
 - 長嶺保育園は定員確保のため当分の間存続し、統合時期を検討します。
- 鉄筋コンクリート造地上4階建て昇降機15人乗り1台
駐車台数52台
1F、2F:保育園 3F、4F:保険福祉センター
問合せ:中央区健康福祉課

(仮称)ロイヤルパークスE R万代工事の進捗

事業主:大和ハウス工業(株)、(株)リビングギヤラリー
施工:(株)福田組、総合企画:(株)トーワ総合システム

万代小学校跡地 2月~3月



3Fシエアハウス
7Fバルコニー

鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上18階塔屋2階共同住宅

工事期間:平成28年5月31日~平成30年8月21日

町名の由来あれこれ

今から六十七年前の昭和二十六年当時流作場の地域には、二十四の町内会があり、町内会の名称は、東天明町・西天明町・中天明町・神明町・市宮アパート・居村町・初生町・万代町一・万代町二・万代町三・万代町四・万代町五・東万代町・西万代町・女学校前・大和町・駅前・宮浦町・春日町一・東・春日町二・春日町一西・春日町一

おはよう朝ごはん料理講習会

朝食を食べることは大切なことです。毎日朝食を摂る子供ほど学力調査の特典が高い傾向にあります。朝食でブドウ糖をはじめとする様々な栄養素を補給して、午前中からしっかり活動できる状態をつくることが重要です。朝ごはんのメリットは、栄養補給だけでなくありません。よく噛んで食べることは、脳や消化器官を自覚めさせ、早寝早起きのリズムをつけることにもなります。平成30年2月24日

講師:食生活改善推進委員

東地区公民館・万代地域コミ協・長嶺地域コミ協・万代長嶺小学校PTA共催による料理講習会を行いました。参加者:30名 献立:オムライス、ワカメのみそ汁、サラダでした。

塩田美幸



西・鉄道局前・水島町である。当時は、各町名の上に流作場の地名を付け、新潟市流作場何々町何番地を、郵便等の宛名としていた。ちなみに、当時の流作場の世帯数は、三、〇四六世帯で、人口は一四、三七一人である。



天明町(昭和60年7月)

はぐみ から)

天明町自治会長 本間 日吉

我が天明町は、昭和四十三年の発定である。当時、国の新任居表示の法に基づき、旧東天明町、西天明町、中天明町、西万代町、初生町、東万代町の一部が合併して新区制となり、これに新しい町名を冠するに当り住民全部の投票により選ばれたものである。天明の由来は、歴史的には遠く江戸時代の天明年間(一七八〇年頃)の開拓に起源するといわれ、又文学的にみれば、天明とは夜明けを意味し、これから昇る朝日の如く、我が町内の将来も希望に満ちた、輝かしいものであって欲しいとの願いがこめられたものと思う。我が家の祖先の手に成る天保年間(一八四〇年頃)の素朴な地図があるが、当時、この辺一帯の人家は僅か数軒にして、今日の発展に比すれば将に隔世の感がある。私は過去の歴史と未来の願望を包み込んだこの町名が好きである。我が町内は、発足当時は約五六〇世帯もあり、市内屈指の大町内であったが、その後のドーナツ化現象のため、現在は約四七〇世帯である。



川村修就奉行

22歳で小十人格お庭番となる。天保14年(1843年)初代新潟奉行として任命。嘉永5年(1852年)まで9年間奉行の役目を務めた。修就は当時の新潟港への薩摩からの密貿易の真偽を確かめるべく、鮎屋に扮して新潟に潜入し情報収集を行ったといわれている。

開発権利金 二千七百五十両

江戸時代後期天明から天保年代に掛けて幕政の綱紀は緩み、大飢饉、自然災害、大火や外国船の出没で世相は不安で、幕府の財政は逼迫していた。松平定信の寛政の改革などが行われたが功を奏しなかった。天保五年老中になった水野忠邦は天保の改革を断行し、上知令(あげちれい)と番後(しやし)禁止令(きんしんしれい)により、幕府財政回復と社会の綱紀粛正を図った。上知(上地)令とは国防を理由に幕府領を江戸十里四方、大阪五里四方に集め全国に点在する幕府領地と大名、旗本領地の献上交換を図る政策だったが反対多く失敗した。親藩大名長岡牧野家の領地新潟浜村の上知が天保十四年下命された。その理由は外国船の出没が多い事、目的は港で得られる莫大な税収であった。背景として天保六年・十一年の二度新潟町で唐物抜荷事件があった。特に天保十一年の時、幕府勘定吟味役川村清兵衛が隠密として新潟町で詳細に探索した。長岡藩はこうした事情から上知を断れなかった。

天保十四年九月二十八日川村は新潟奉行として赴任し、町役検断達を集め自分が江戸屋と言う鮎売りで新潟町に任んでいた事を告げ皆を驚かせたと言う。

次いで新潟浜村の内、寄居村と附寄島を検分し、天保十五年(弘化元年)十二月二十八日両地共に幕府所領(天領)となった。当時附寄島は家数四十戸、人口三百八十人であった。弘化三年地名を「肩書き新潟浜村の内越後国蒲原郡流作場新田」と公称し附寄島の名は消えた。

開拓以来百年、庄屋安倍家九世安倍誘五郎と庄屋見習い息子誘之助は其の職を解かれ、新潟町検断塩屋(松村)久蔵が流作場の庄屋を兼帯し、百姓組頭は渡邊甚助より、当村木山太右衛門に代わった。長岡藩より幕府所領と代わり、此れ迄の支配体制の変化を知らしめ、安倍家の特

権を削ぐ事になった。

遠祖安倍玄的翁が、開発権利金二千七百五十両

(現在、二億七千五百万円)を藩に納め、開村した。労苦を思えば情の薄い政治の冷厳さを思い知らされる。因みに上知出来たのは全国で長岡藩だけであった。

三社神社宮司 大橋 毅



～ あれから7年 ～

みやの万代ぶつぶつ

3月11日、あれから7年経ちました。もう7年、まだ7年。大震災の苦悩被災者を多く出しているようだ。3月12日、新聞、テレビの報道のページを開けておっかけると、とりわけ帰宅可能な地域が広がる中、いまだに自らの家に帰還する見通しがたっていない人々も多い。

3月13、14日 北陸新幹線開業から3年の特集が大きなスペースを掲載していた。3月11日 各地で鎮魂の祈り。岩手、宮城、福島3県を中心に死者は1万5875人、行方不明者は2万5千39人にのぼる。約7万3千人は今も避難生活中だ。

被災地から今伝えたい。妻や孫はバラバラになった。復興が進んだという国は、避難者のことを忘れていないのか。私にとって復興はまだゼロだ。
広報委員・宮川義徳

編集後記

4月「清明」：万物がすがすがしく明るく美しいころとなって、今年の新潟のきびしい冬から開放され、ピクニックのように春を迎えて散策する。中国では「穀雨」前後に摘む茶ほど香りと甘みがあって高級茶とされる。田畑の準備がととのい、あわせて穀物の生長を助ける春の雨が降るころです。近くはやすらぎ堤にて、風を感じ、冬の疲れを一呼吸も二呼吸も癒し、芽吹く草木の匂いにくるまれて、4月を満喫する健康法も如何かとおもいます。
広報委員 田所